

みどりの里親活動Ⅱ

11月2日(水)酒田市宮海字新林の西荒瀬保育園の年長組を対象とした「みどりの里親活動Ⅱ」(採取した種及び育てた苗の植付)を実施しました。

この日の酒田地域は11月というのに暖かい晴天の天気恵まれ、園児25名、保育園先生4名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢33名で種及び苗の植付作業を行いました。

保育園玄関前に用意したブルーシートの特設会場において、先ず、木製フランターづくりを行いました。園児達が7班に分かれて行うことになり、各班の班長には、当センター職員や保育園先生が当たりました。木製フランターづくりでは当センター職員より作り方のポイントなどについて説明しました。その後、各班(3~4名)に分かれて組み立てました。園児達は木の板をパズルのように扱い、ああでもない、こうでもないなど言葉が交わされた後、班長の指示で釘打ちにチャレンジしました。巣箱づくりやキ/コの駒打ちなどの作業で手慣れている園児の皆さんによって、たちまち木の香りのするフランターが7個作り上がりました。

次に、フランターに土を入れて種まきを行いました。種まきをする種は、10月19日に鳥海山に行って拾ってきたものです。種まきを終えた班から元気な芽が出て大きく成長するようにとお祈りをしました。来春にはきっと芽を出してくれるものと思いました。

続いて、今年の秋に種まきして成長した苗木(ミスナラ、トチノキ、オニグルミ、アキグミ等)11本を「しんちゃんの森」に植樹しました。最初に、当センター職員が植付の仕方について実演をしました。各班(3人組)ごとに、植え穴に小さな苗木を土まみれになりながら植えました。植えた苗は「大きく成長してね」と願いが込めて園児の皆さんから手でなでられていました。

最後に、参加者全員で木製フランターを前に置き、記念撮影を行いました。園児達の優しい手で植付した種、苗木に届き、来春には、種や苗木から新たな芽を出して生長することを参加者全員で願い、作業を終了しました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター